

土砂災害の被災状況について【被害概要版】

平成28年熊本地震

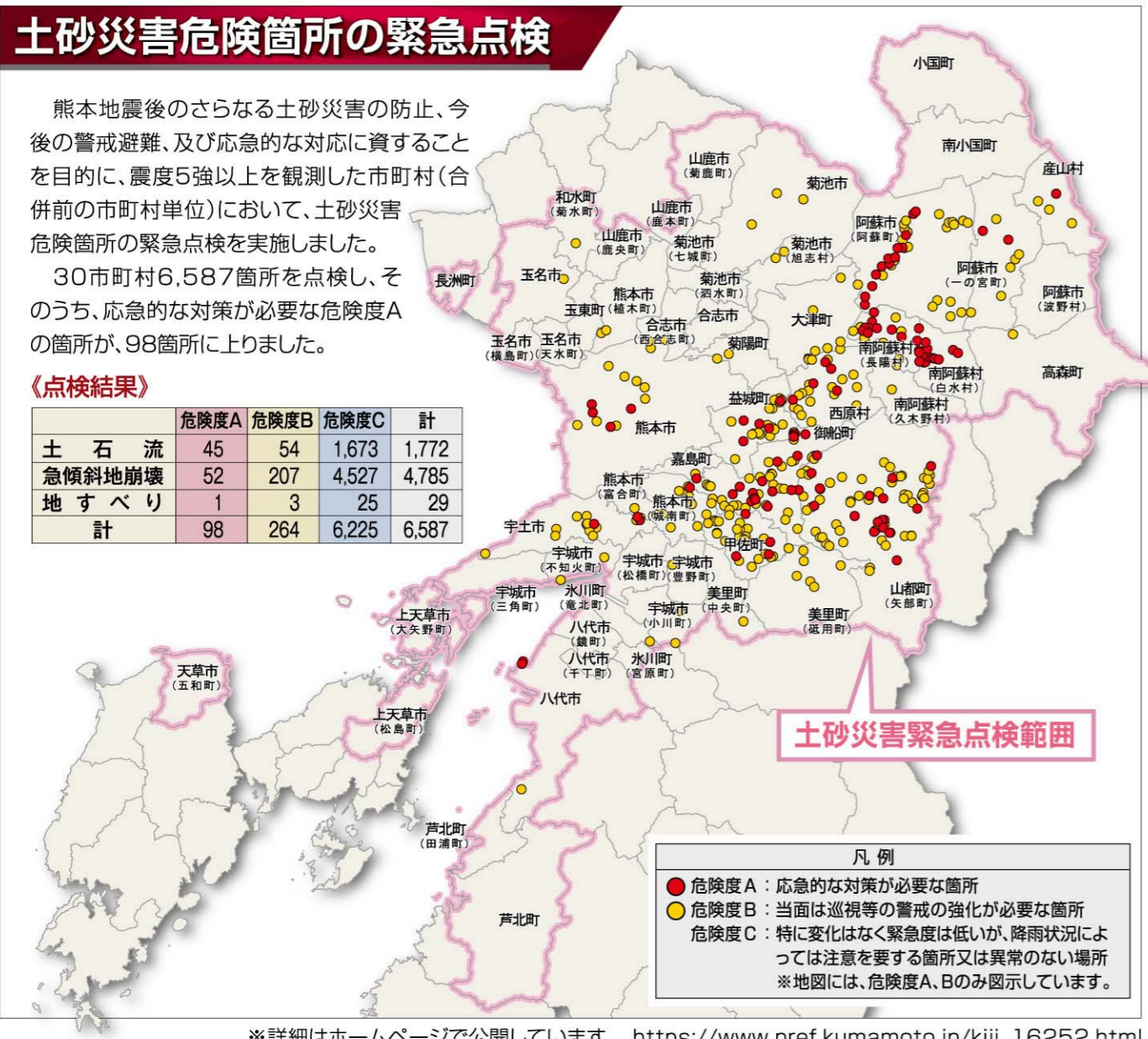
土砂災害危険箇所の緊急点検

熊本地震後のさらなる土砂災害の防止、今後の警戒避難、及び応急的な対応に資することを目的に、震度5強以上を観測した市町村(合併前の市町村単位)において、土砂災害危険箇所の緊急点検を実施しました。

30市町村6,587箇所を点検し、そのうち、応急的な対策が必要な危険度Aの箇所が、98箇所を上りました。

《点検結果》

	危険度A	危険度B	危険度C	計
土石流	45	54	1,673	1,772
急傾斜地崩壊	52	207	4,527	4,785
地すべり	1	3	25	29
計	98	264	6,225	6,587



土砂災害緊急点検範囲

- 凡例
- 危険度A：応急的な対策が必要な箇所
 - 危険度B：当面は巡視等の警戒の強化が必要な箇所
 - 危険度C：特に変化はなく緊急度は低いが、降雨状況によっては注意を要する箇所又は異常のない場所
※地図には、危険度A、Bのみ図示しています。

※詳細はホームページで公開しています。 https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_16252.html

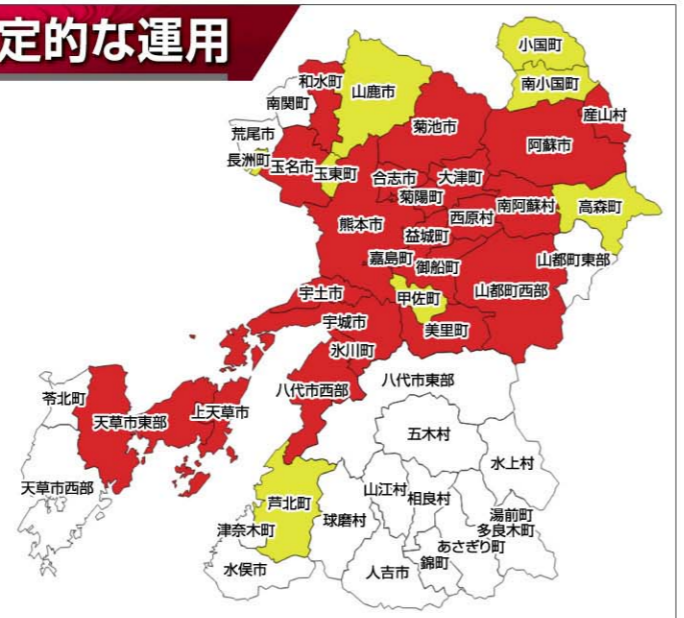
土砂災害警戒情報発表基準の暫定的な運用

熊本地震により地盤が緩んだことにより、雨による土砂災害の危険性が通常より高くなっていると考えられます。

このため、震度5強以上を観測した市町村では当分の間、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表する土砂災害警戒情報の発表基準(土壌雨量指数基準)について、4月16日から通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用しています。

《通常基準を暫定的に変更する市町村》

- 通常基準の7割 (3割減：震度6弱以上)
- 通常基準の8割 (2割減：震度5強)



南阿蘇村立野地区の土砂崩壊
4月16日撮影



南阿蘇村高野台地区の地すべり
4月22日撮影

熊本県土木部砂防課

2016.10.01 作成
2016.10.11 改訂